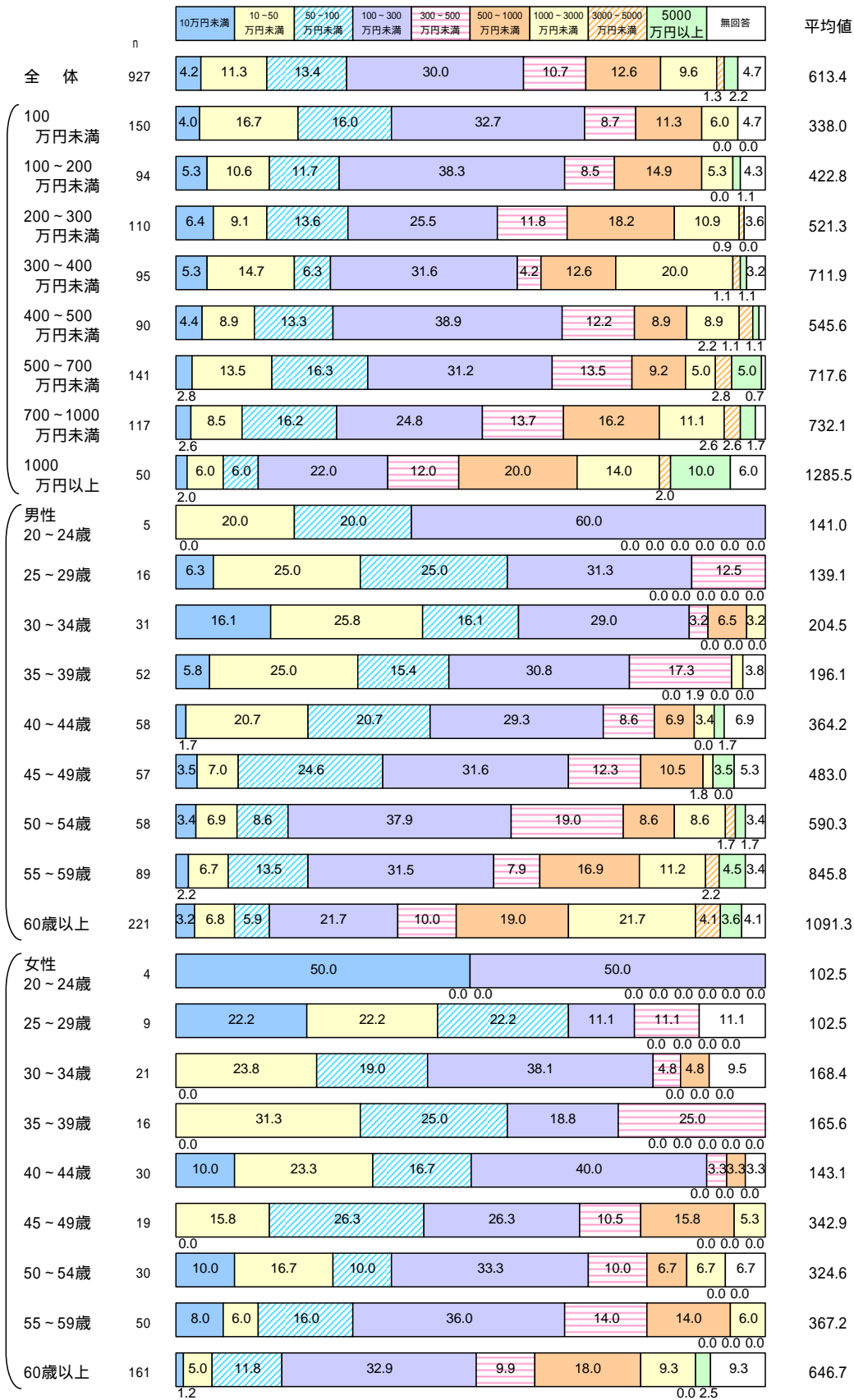


(11) 現在保有株式の総額(時価)(問23)

現在保有株式の総額(時価)を尋ねたところ、「100～300万円未満」が30.0%で最も高い。

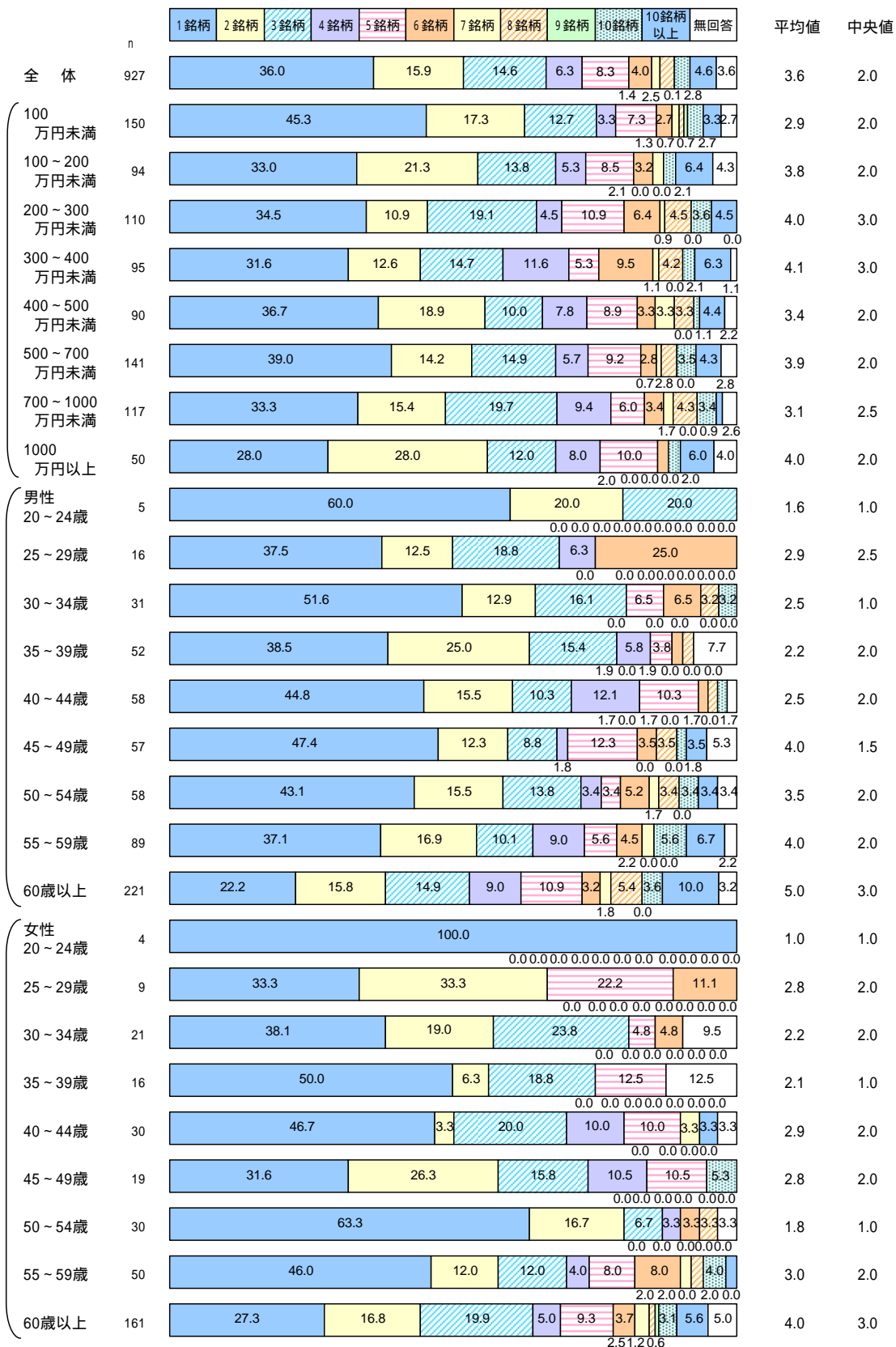
図表 4-18 現在保有株式の総額(時価)(問23) / 年収、性・年代別



(12) 現在保有株式の銘柄数 (問 24)

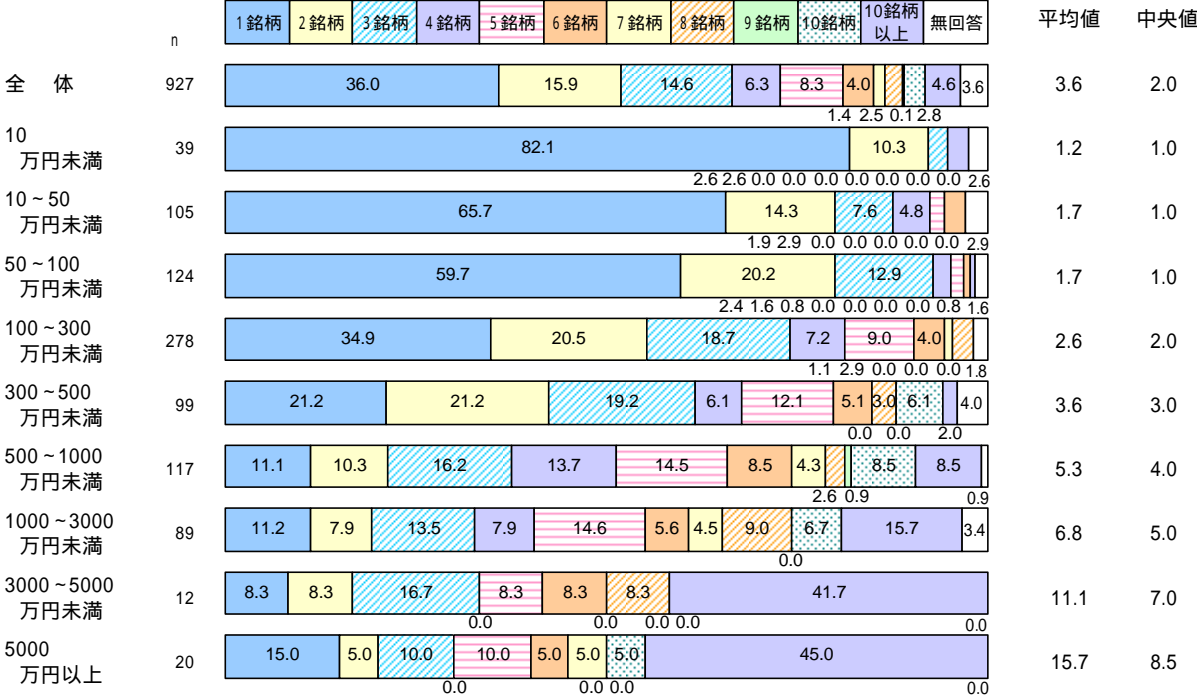
現在保有している株式の銘柄を具体的に答えてもらったところ、「1銘柄」(36.0%)が最も高く、以下、「2銘柄」(15.9%)、「3銘柄」(14.6%)である。平均は3.6銘柄であり、男女とも60歳以上で銘柄数が多い。

図表 4-19 現在保有株式の銘柄数 (問 24) / 年収、性・年代別



現在保有株式の総額（時価）（問 23）との関係を見ると、保有総額が多いほど保有銘柄数が多い。

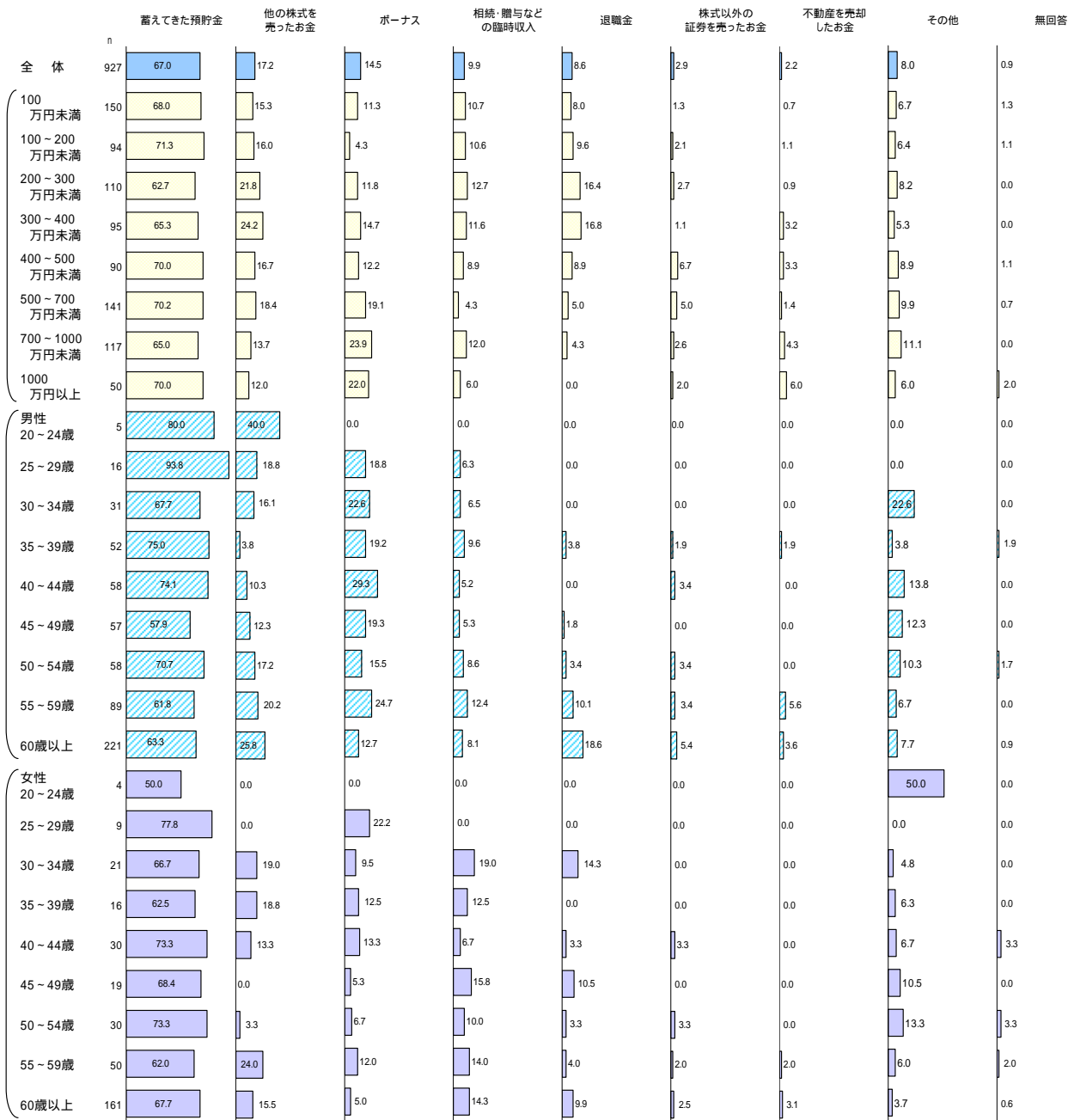
図表 4-20 現在保有株式の銘柄数（問 24） / 現在保有株式の総額（時価）別（問 23）



(13) 株式の購入資金 (複数回答) (問 25)

株式の購入資金で最も高いものは、「蓄えてきた貯蓄金」が 67.0% と他の理由に大きく差をつけている。

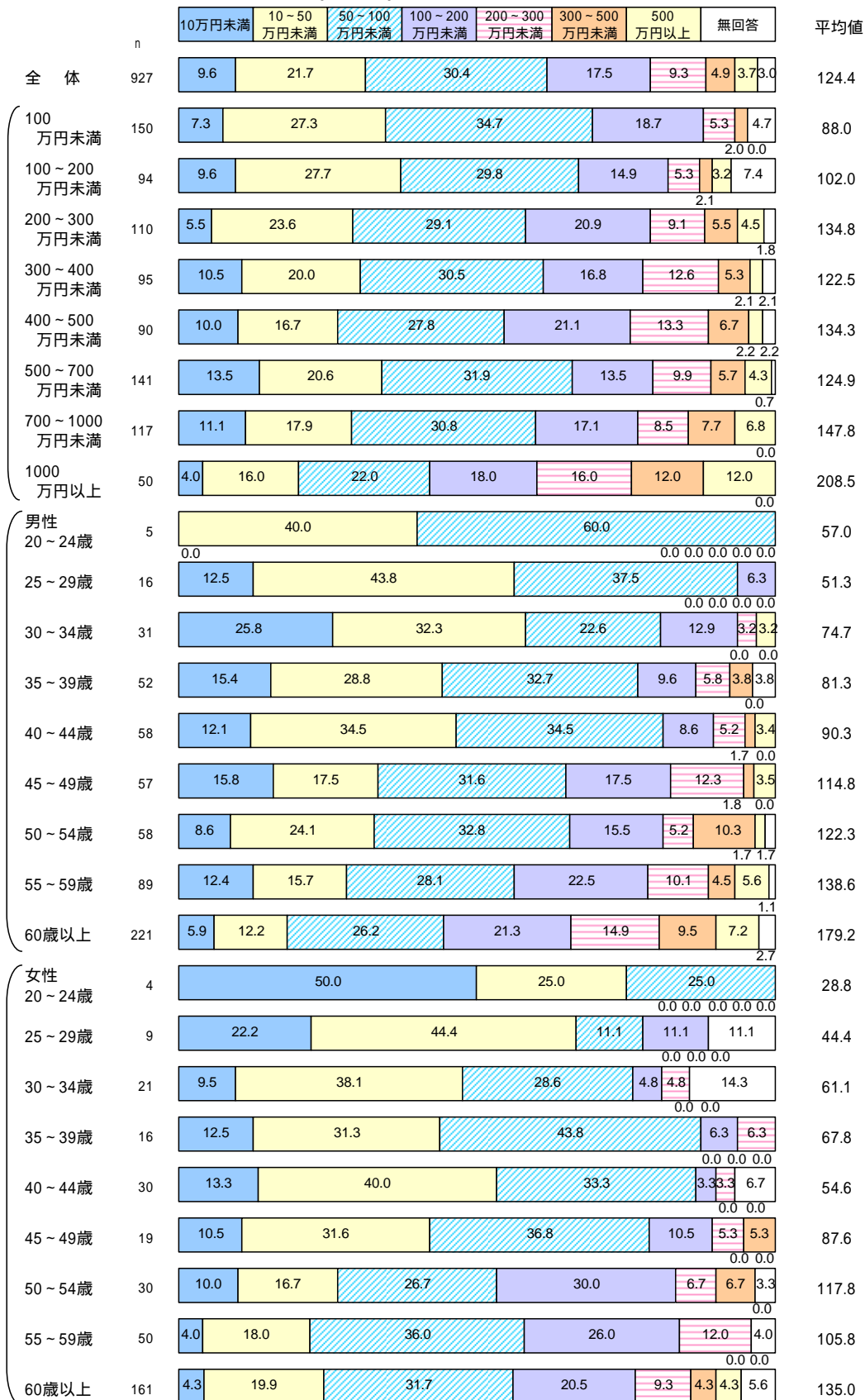
図表 4-21 株式の購入資金 (複数回答) (問 25) / 年収、性・年代別



(14) 1 銘柄当たりの投資額 (問 26)

1 銘柄当たりの投資額は、「50～100 万円未満」(30.4%)を中心に、その前後(「10～50 万円未満」、「100～200 万円未満」)が2 割程度となっている。

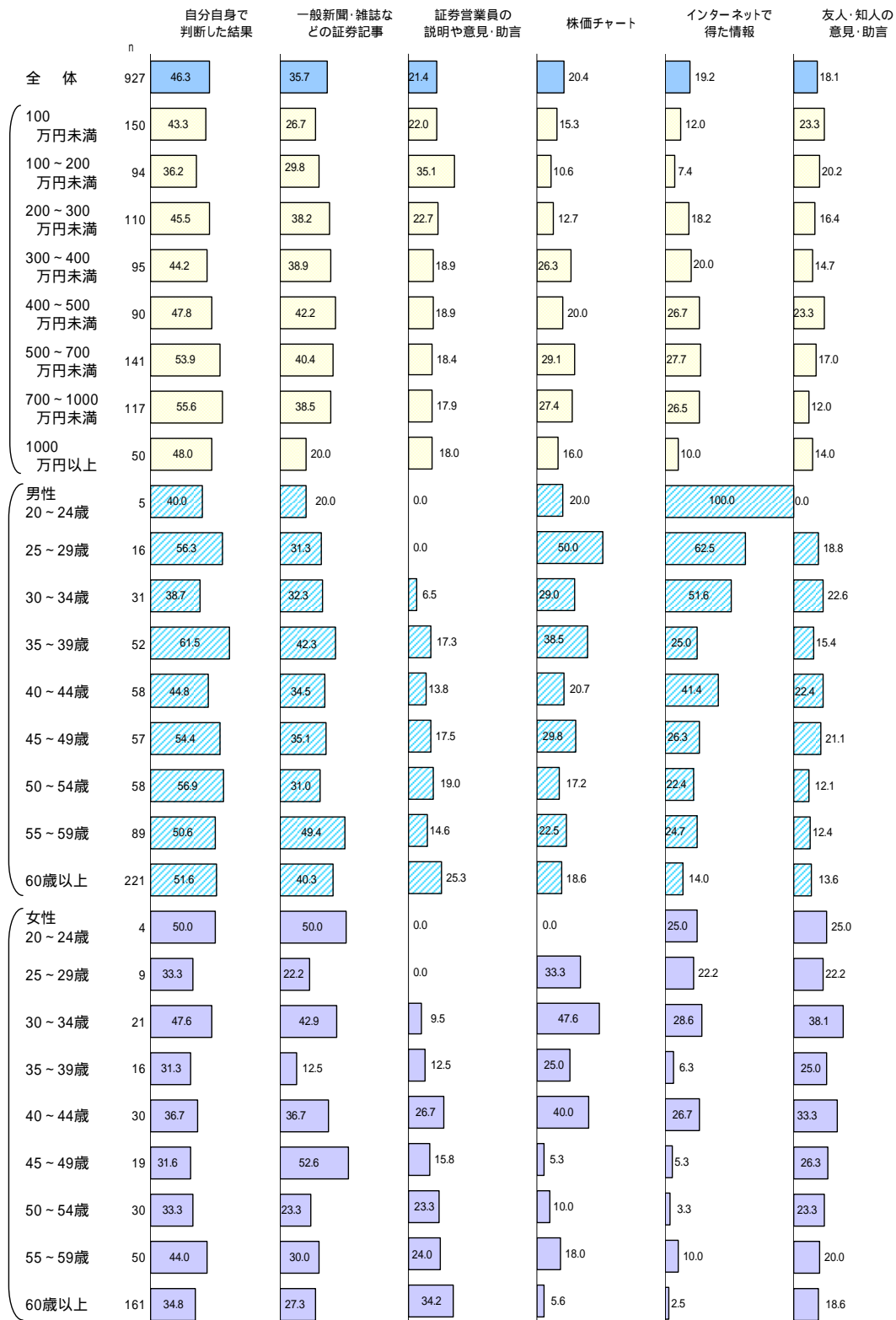
図表 4-22 1 銘柄当たりの投資額 (問 26) / 年収、性・年代別

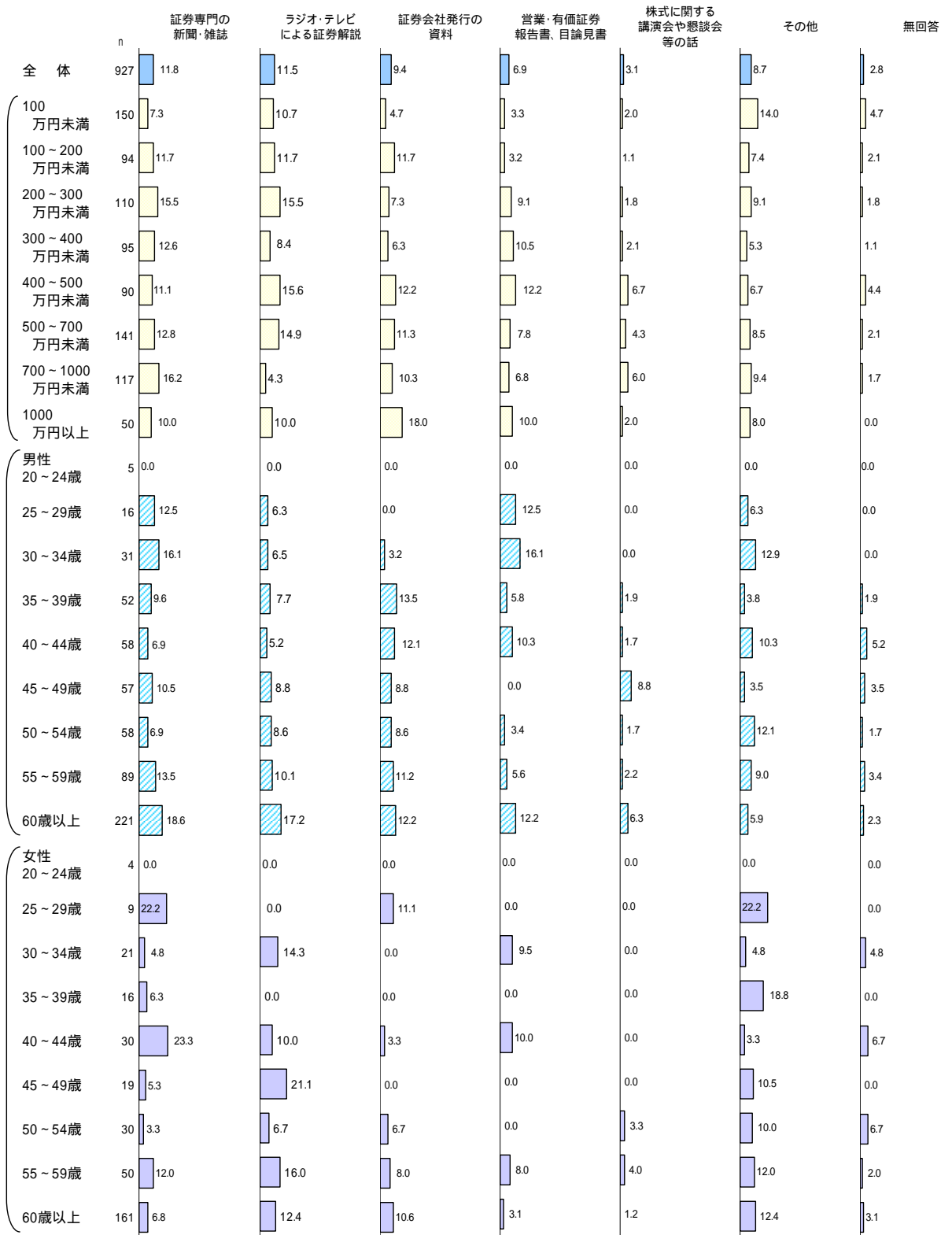


(15) 銘柄選択の決め手 (複数回答) (問 27)

銘柄選択の決め手は、「自分自身で判断した結果」(46.3%)、「一般新聞・雑誌などの証券記事」(35.7%)が上位であり、以下、「証券営業員の説明や意見・助言」、「株価チャート」、「インターネットで得た情報」、「友人・知人の意見・助言」が20%前後で続く。
男女とも60歳以上で「証券営業員の説明や意見・助言」が高い傾向がみられる。

図表 4-23 銘柄選択の決め手 (複数回答) (問 27) / 年収、性・年代別

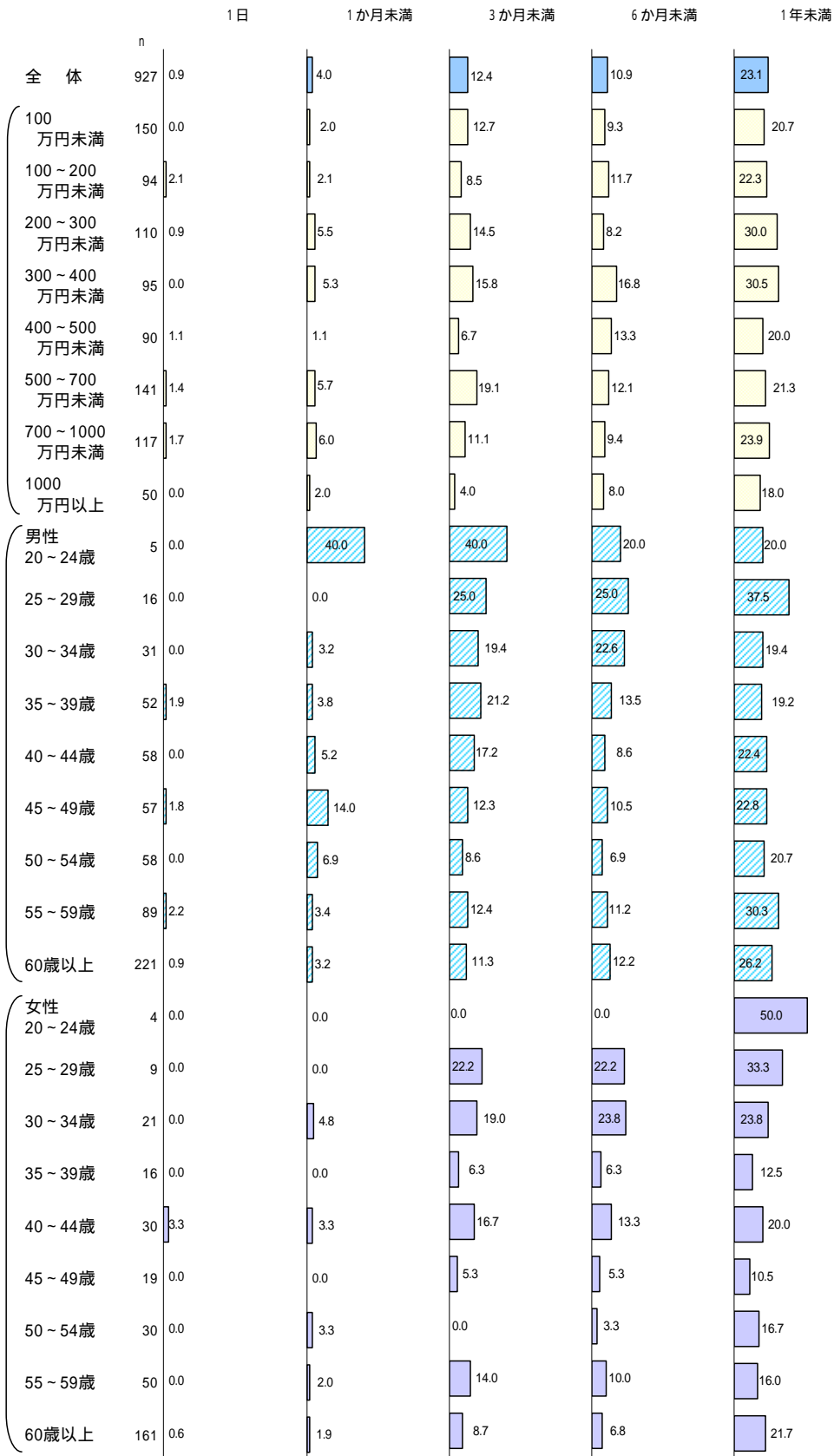


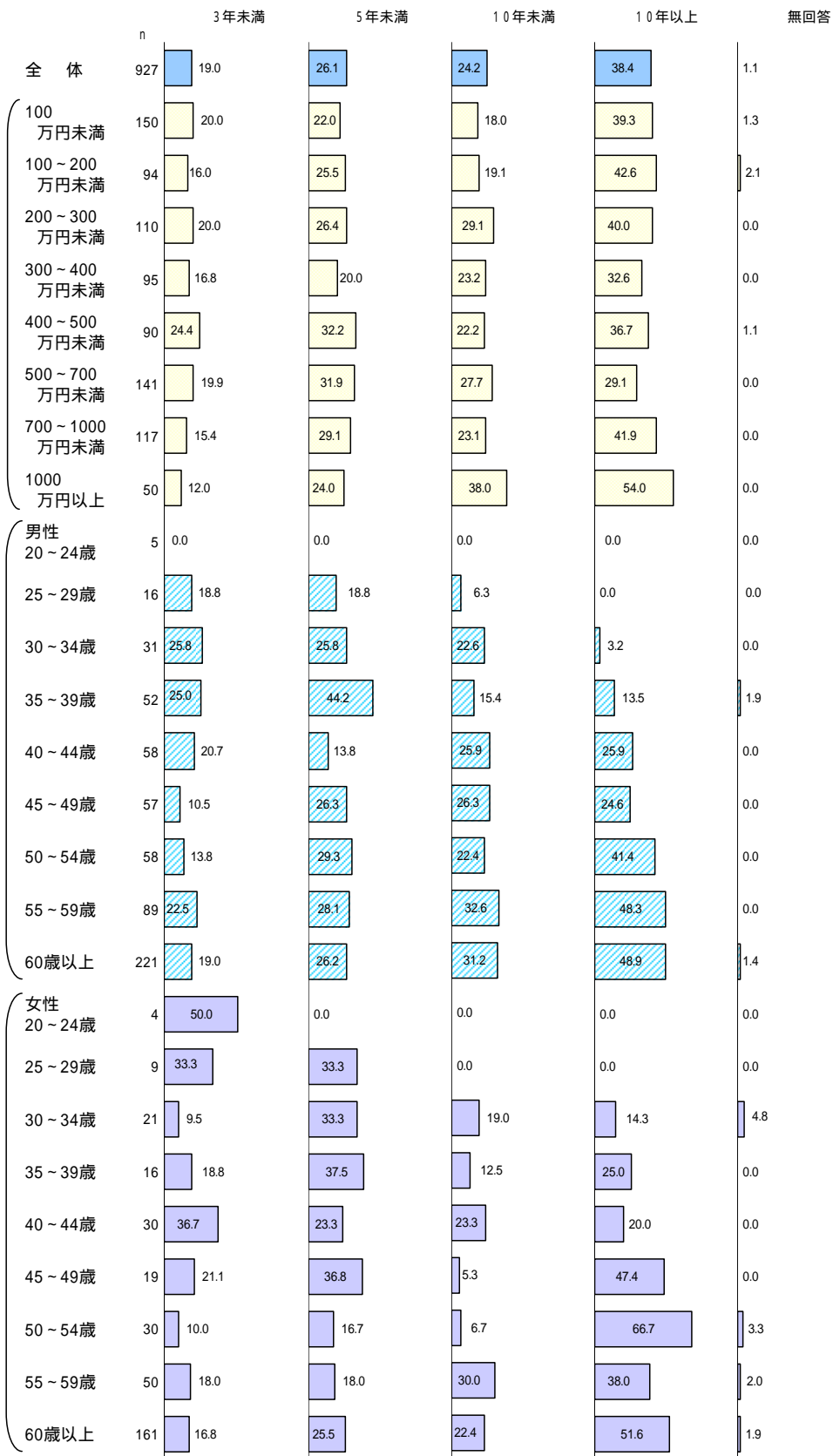


(16) 現在保有銘柄の保有期間（複数回答）（問 28）

現在保有銘柄の保有期間についてみると（注：複数回答）、「10年以上」との回答が38.4%で最も多い。

図表 4-24 現在保有銘柄の保有期間（複数回答）（問 28） / 年収、性・年代別

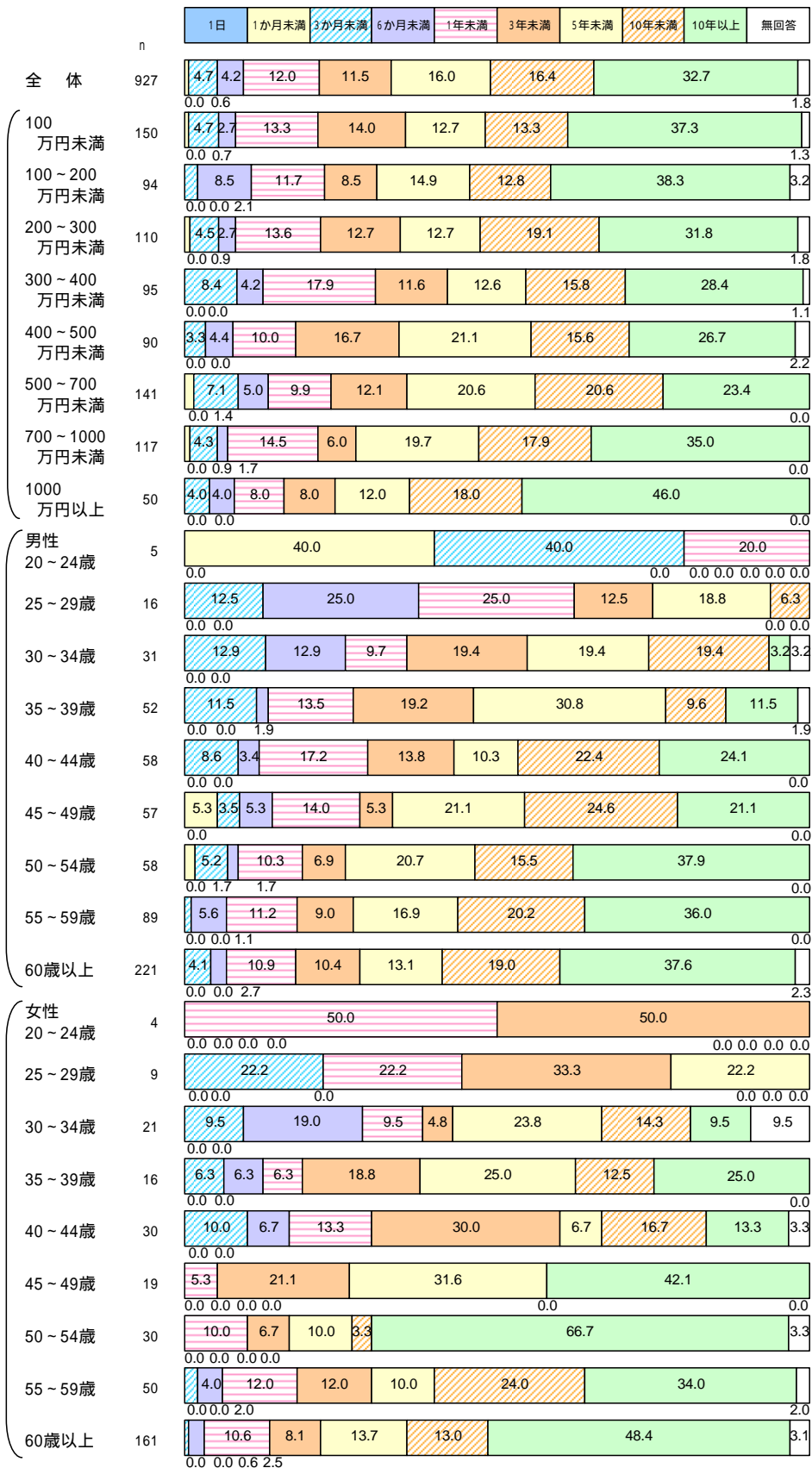




(17) 最も銘柄数が多い保有期間 (問 28-1)

最も銘柄数が多い保有期間についてみて、**「10年以上」との回答(32.7%)が最も多い。**

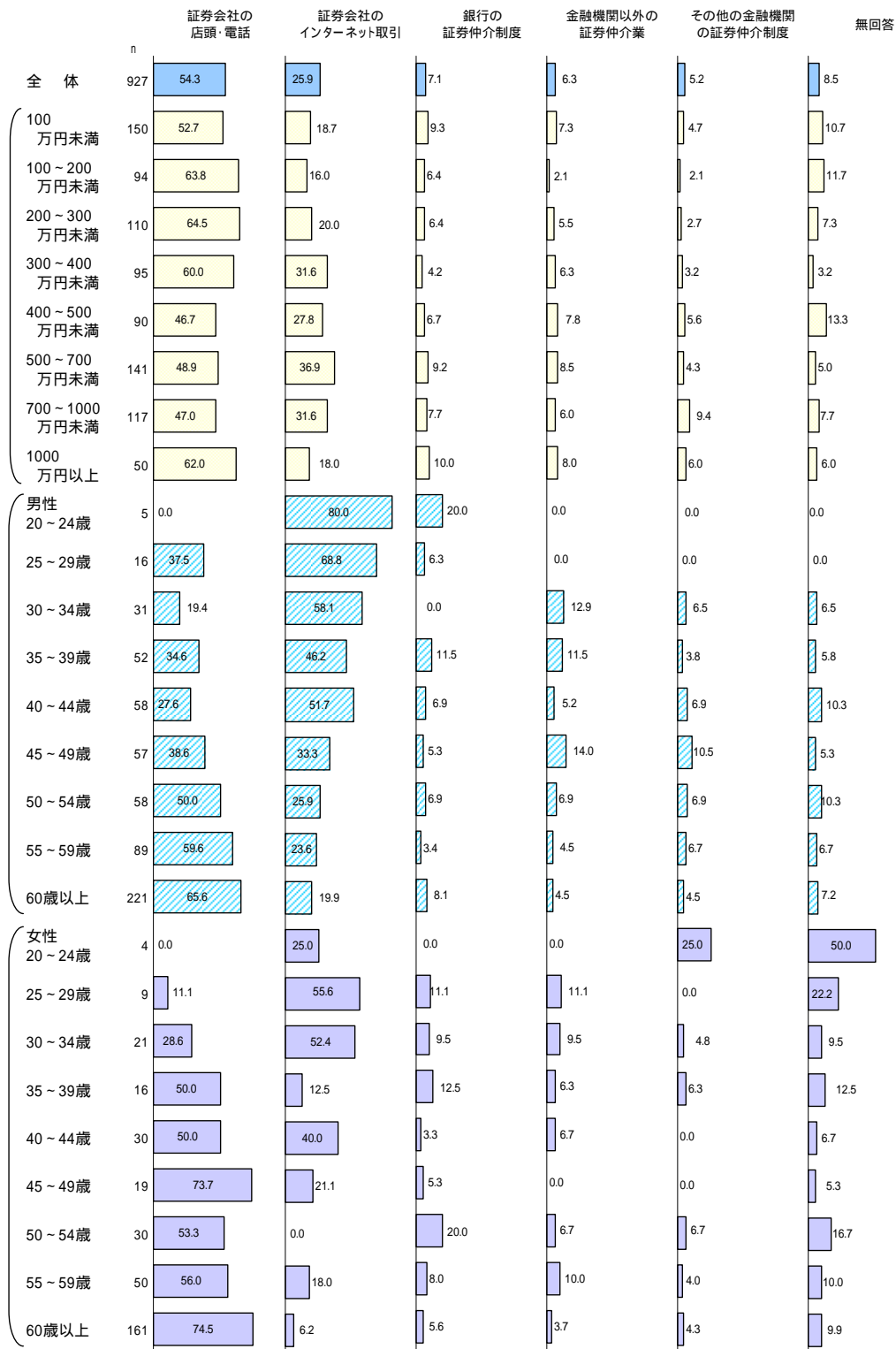
図表 4-25 最も銘柄数が多い保有期間 (問 28-1) / 年収、性・年代別



(18) 株式の売買注文場所 (複数回答) (問 29)

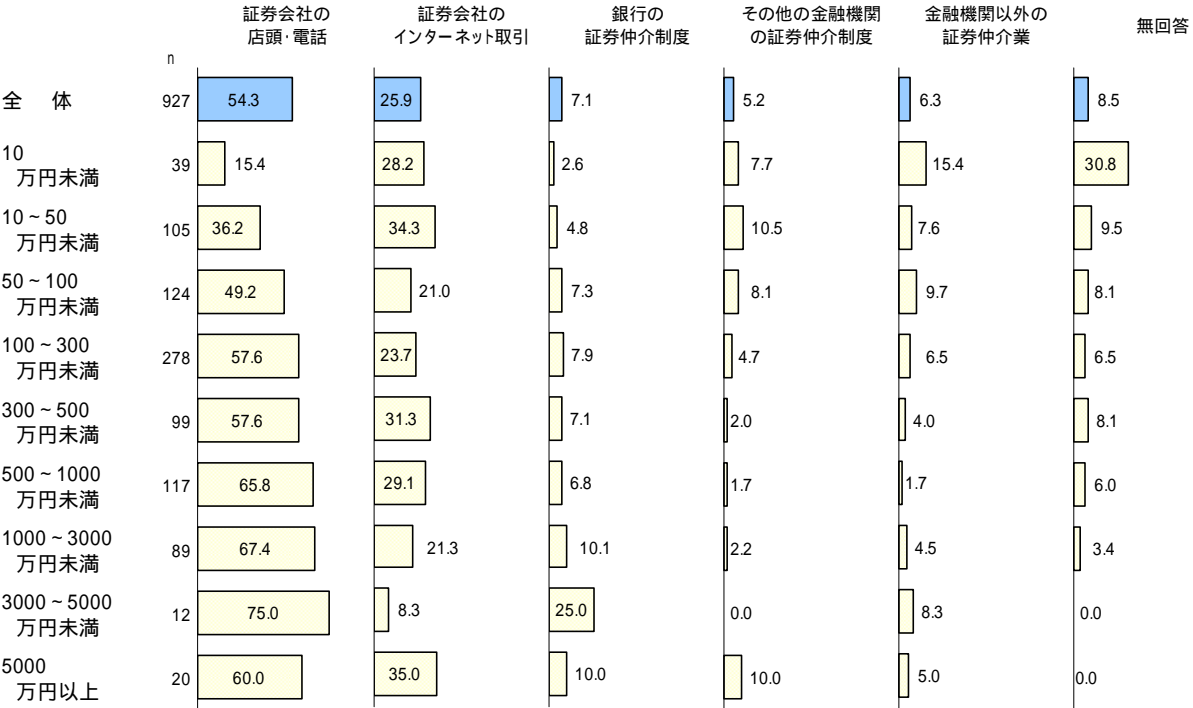
株式の売買注文場所についてみると、「証券会社の店頭(電話注文も含む)で」が54.3%で最も高い。次いで「証券会社のインターネット取引で」が25.9%で続き、この2つが主たる注文場所である。なお、この2つを併用しているのは4.2%(39人)とわずかであり、ほとんどの人の注文場所はどちらかに特定されていることになる。サンプル数が少ない層もあるが、男女とも若年層ほど「証券会社のインターネット取引で」が高く、高年層ほど「証券会社の店頭(電話注文も含む)で」が高い。

図表 4-26 株式の売買注文場所 (複数回答)(問 29) / 年収、性・年代別



現在保有株式の総額（時価）（問 23）との関係を見ると、サンプル数が少ない層があるが、保有総額が多いほど「証券会社の店頭（電話注文も含む）で」が高い傾向がみられる。

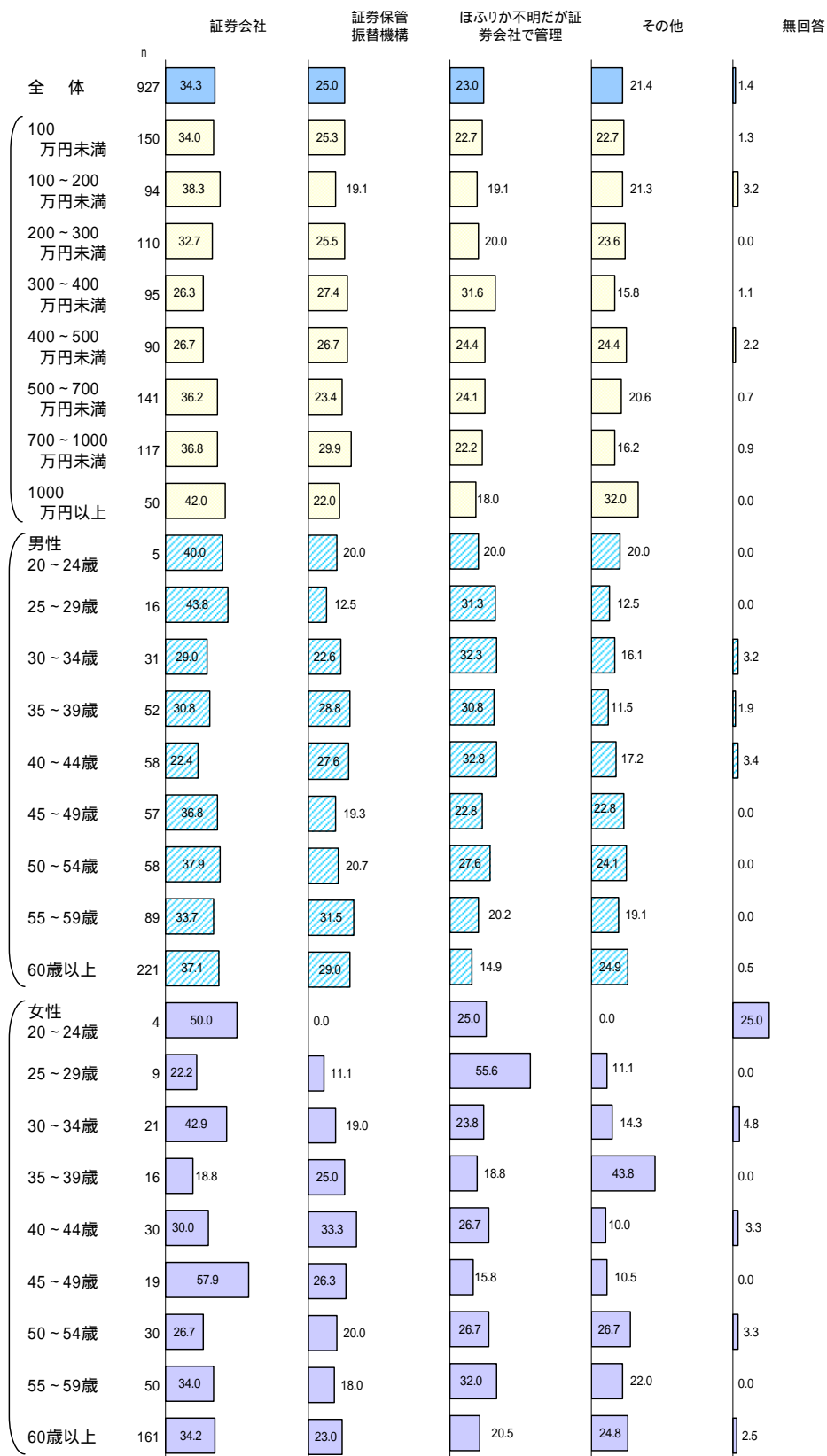
図表 4-27 株式の売買注文場所（複数回答）（問 29）
 / 現在保有株式の総額（時価）別（問 23）



(19) 株券の保管方法 (複数回答) (問 30)

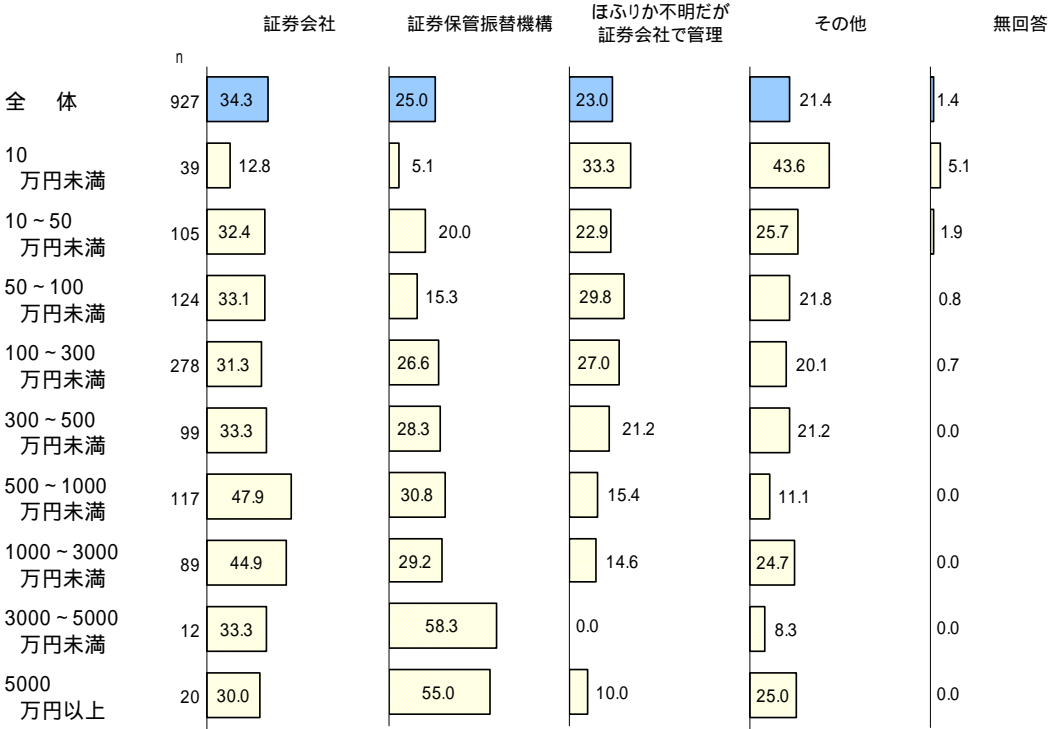
株券の保管方法を尋ねたところ、「証券会社で保管」(34.3%)、「証券保管振替機構(ほふり)で保管」(25.0%)、「その他」(21.4%)である。「ほふりで保管が証券会社で保管かわからないが、証券会社で管理してもらっている」は23.0%である。

図表 4-28 株券の保管方法 (複数回答)(問 30) / 年収、性・年代別



現在保有株式の総額（時価）（問 23）との関係を見ると、サンプル数が少ない層もあるが、保有総額が少ないほど「ほふりか証券会社かわからないが、証券会社で管理してもらっている」が高い傾向がみられる。

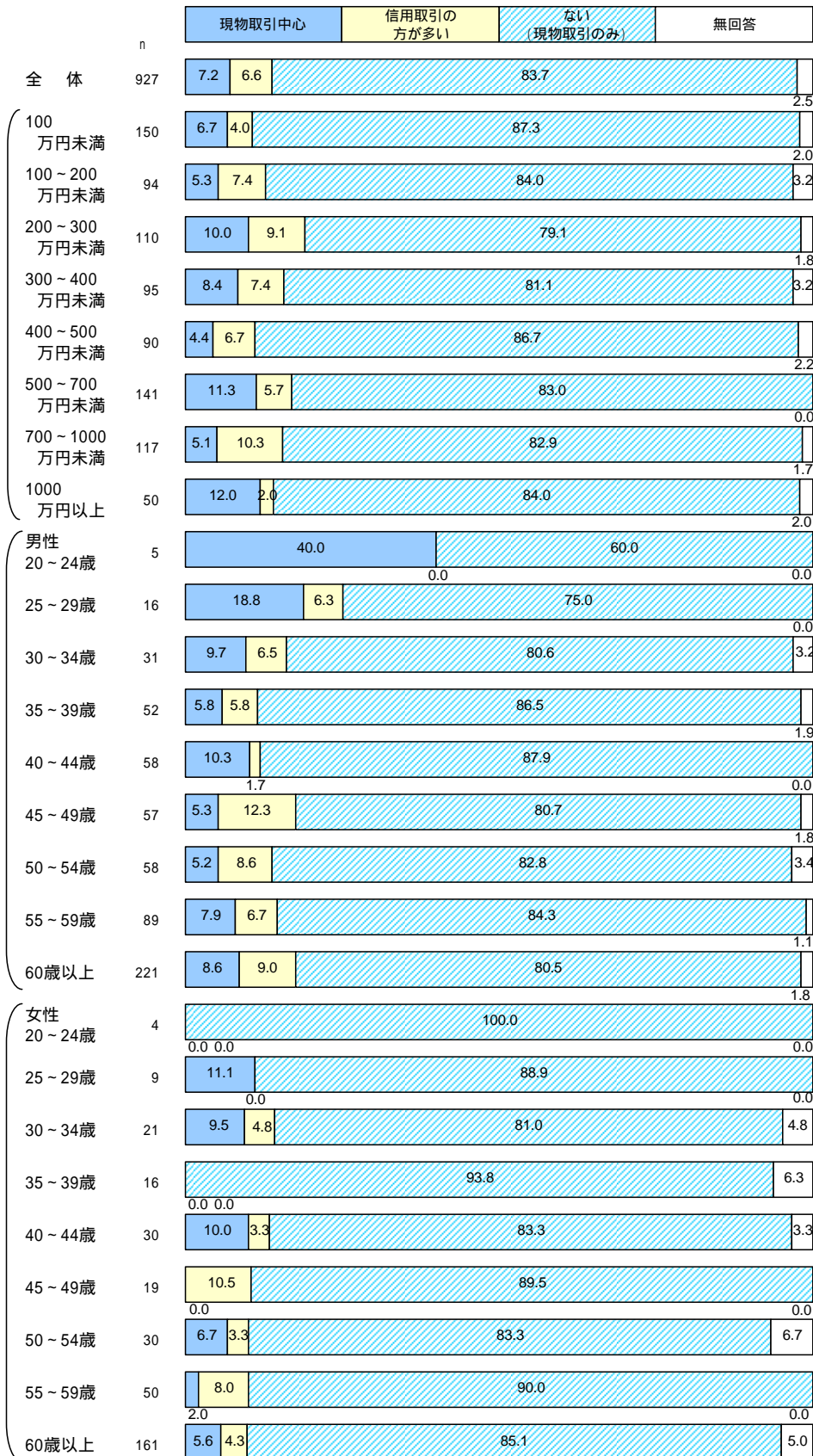
図表 4-29 株券の保管方法（複数回答）（問 30） / 現在保有株式の総額（時価）別（問 23）



(20) 信用取引の利用有無 (問 31)

株式購入時に信用取引を利用することがあるか尋ねたところ、「ない(現物取引のみ)」が83.7%と大部分を占める。頻度に関わらず信用取引の利用者は1割強である。

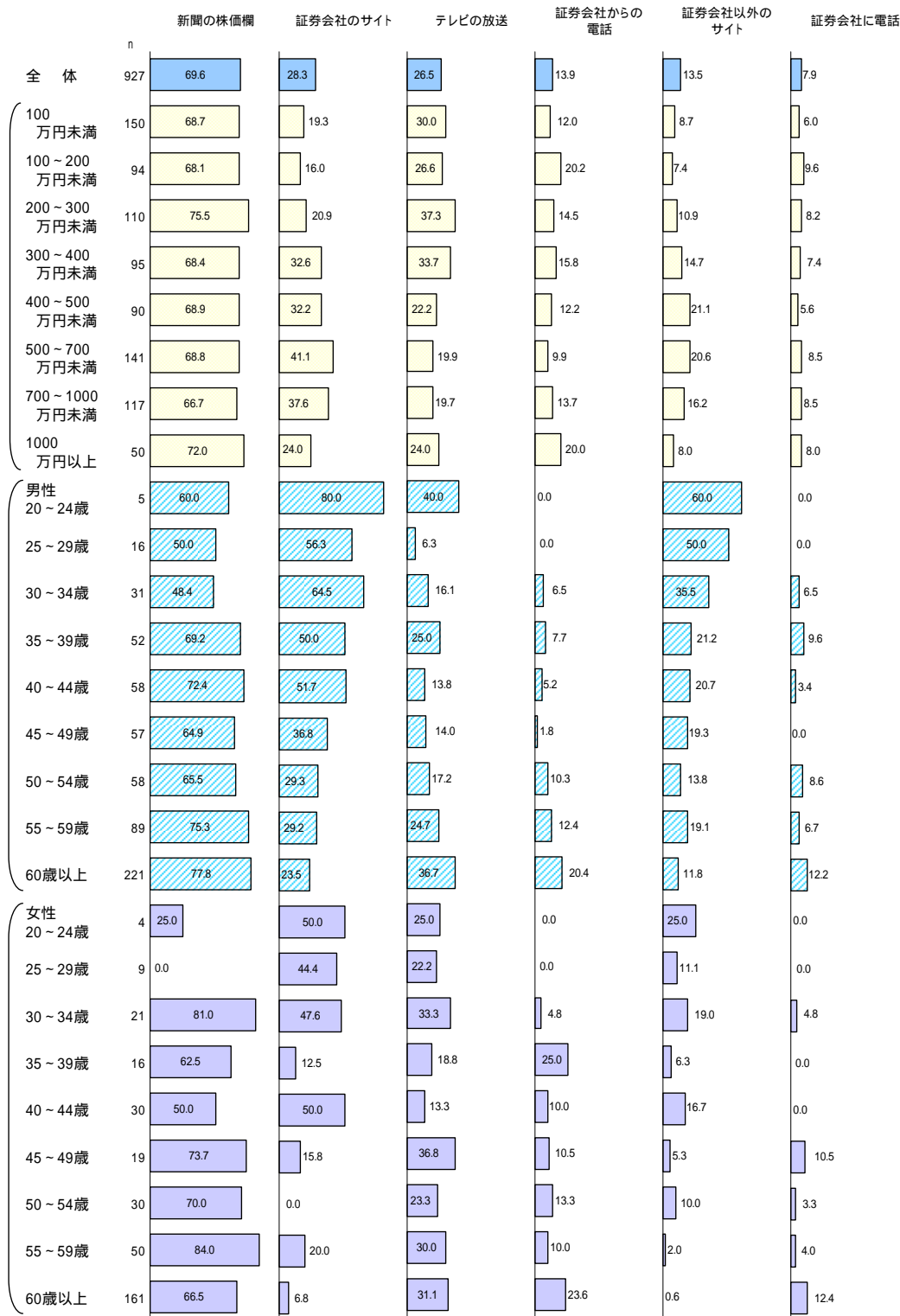
図表 4-30 信用取引の利用有無 (問 31) / 年収、性・年代別

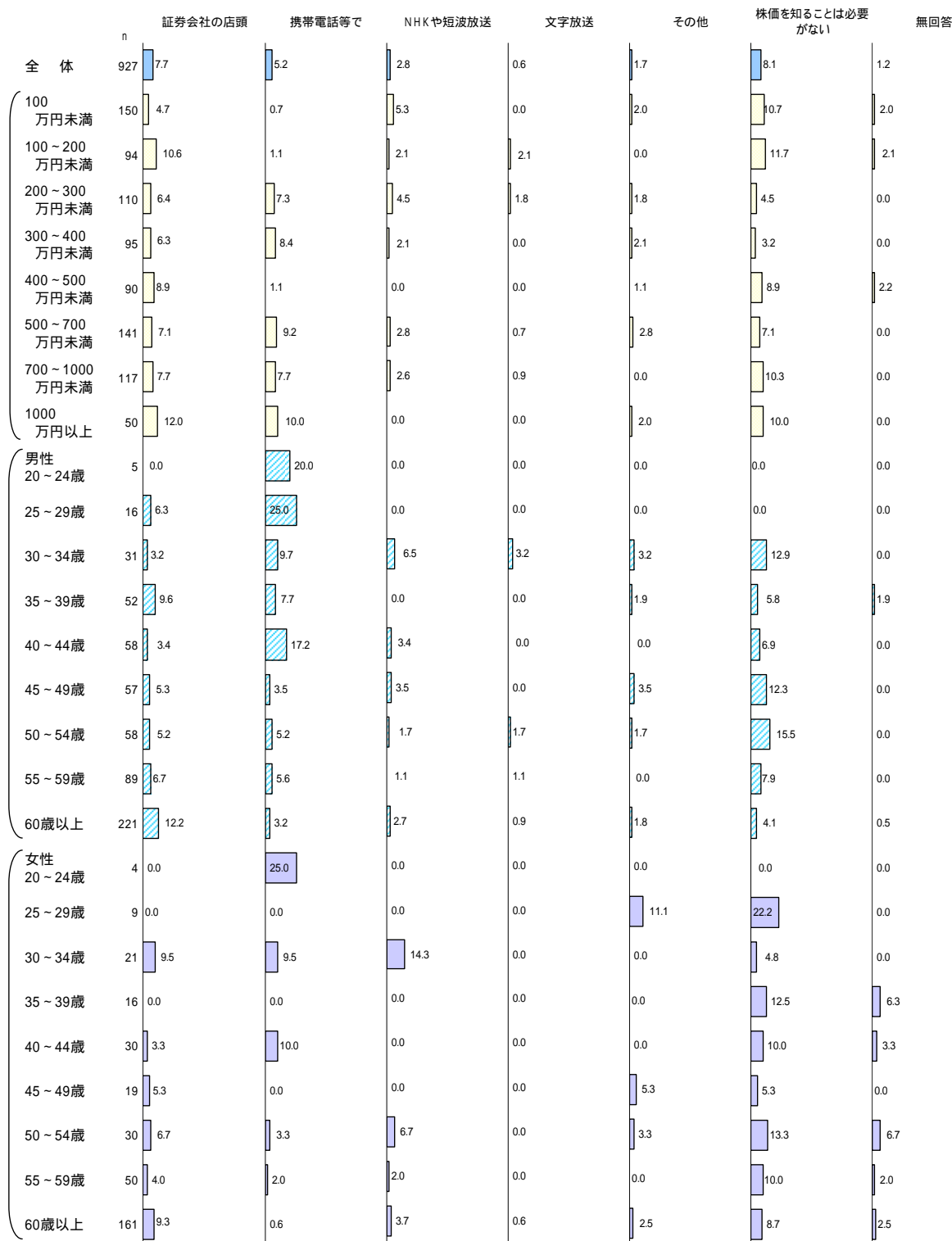


(21) 株価情報の取得経路(複数回答)(問32)

株価情報の取得経路については、「新聞の株価欄で」が69.6%で最も高く、他の認知経路を大きく離している。以下、「証券会社のサイト(インターネット)で」(28.3%)、「テレビの放送で」(26.5%)と続く。
 サンプル数が少ない層もあるが、男性は高年層ほど「新聞の株価欄で」から、また、若年層ほど「証券会社のサイト」から株価を得ている。

図表 4-31 株価情報の取得経路(複数回答)(問32) / 年収、性・年代別

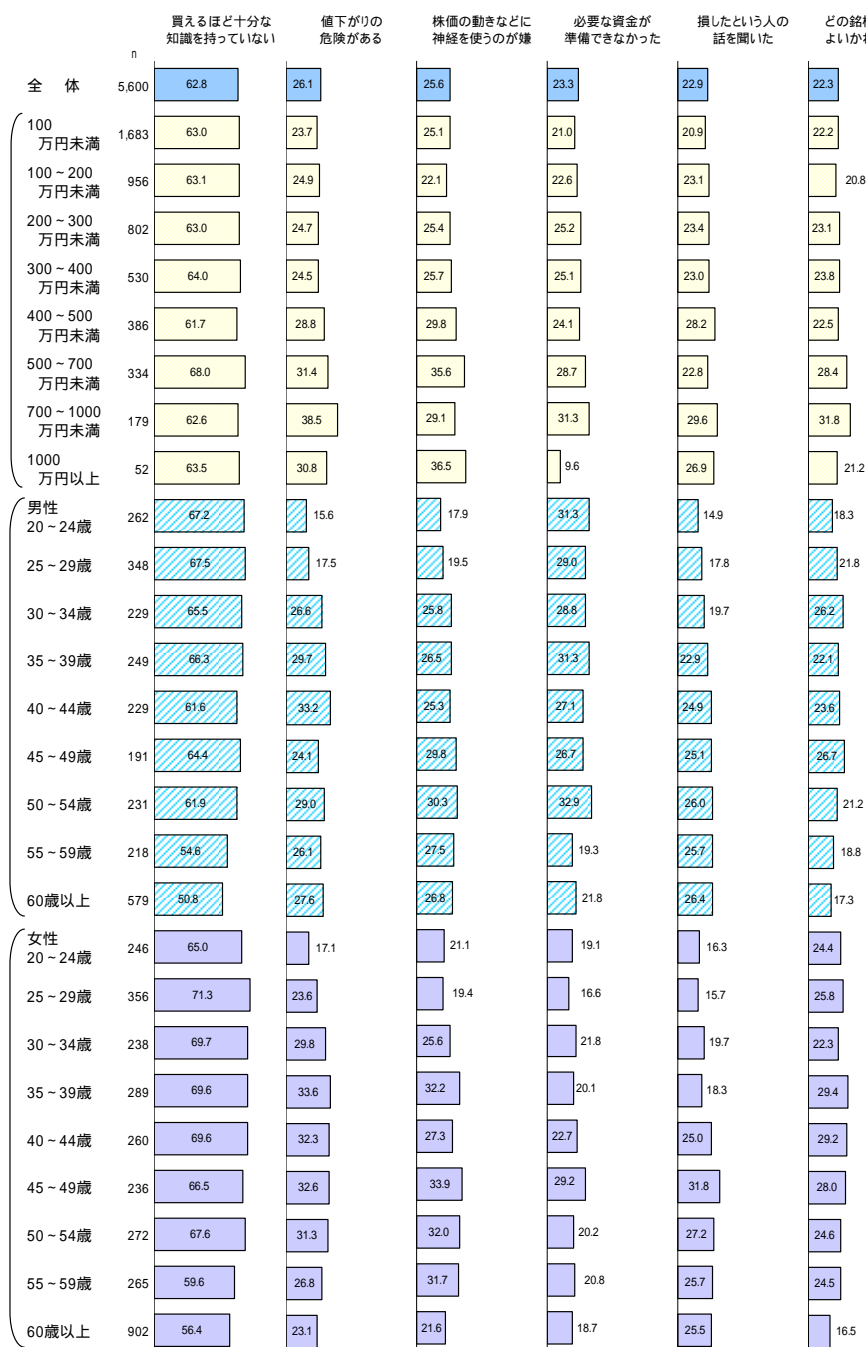


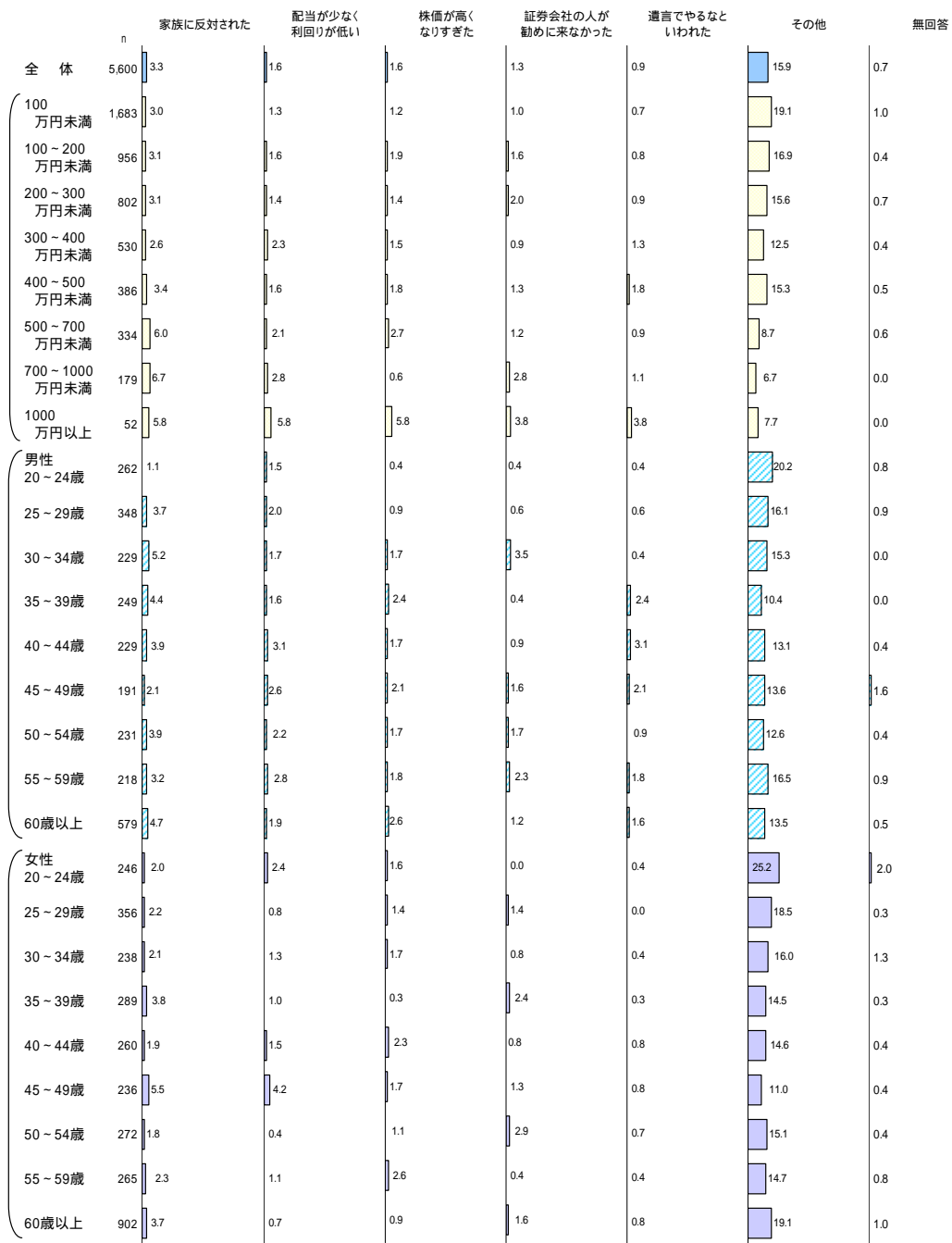


(22) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由(複数回答)(問33)

株式保有未経験者に対してこれまで株式を購入しなかった理由を尋ねたところ、「買えるほど十分な知識をまだ持っていないと思ったから」が62.8%で最も高い。以下、「値下がりの危険があるから」、「株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから」、「必要な資金が準備できなかったから」、「損したという話を聞いたから」、「どの銘柄を買ったらよいかわからなかったから」が2割台で続く。なお、「家族に反対されたから」、「遺言でやるなといわれたから」といった身内の反対は3%台以下である。男女とも20代で、「値下がりの危険があるから」、「株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから」を挙げる割合が他の年代に比べて低い傾向がみられ、この面で他の年代より抵抗が少ない様相をみせている。また、「損したという話を聞いたから」は、少しずつではあるが、男女とも年代が上がるにつれて高まる傾向がみられる。

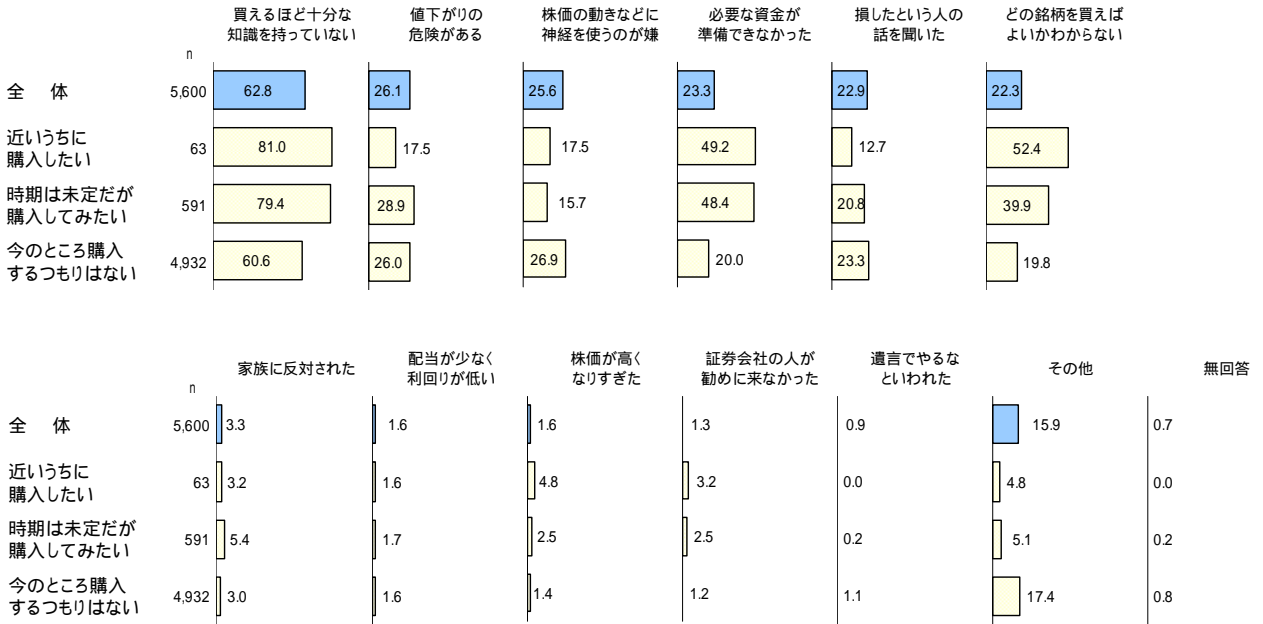
図表 4-32 【株式保有未経験者】株式非購入の理由(複数回答)(問33) / 年収、性・年代別





株式の購入意向（問 15）との関係を見ると、購入意向層（「近いうちに購入したい」及び「時期は未定だが購入してみたい」）は、「買えるほど十分な知識をまだ持っていないと思ったから」が約 8 割、「必要な資金が準備できなかったから」が約 5 割、「どの銘柄を買ったらよいかわからなかったから」が約 4 割（「近いうちに購入したい」は約 5 割）である。

図表 4-33 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（複数回答）（問 33）
/ 株式の購入意向別（問 15）

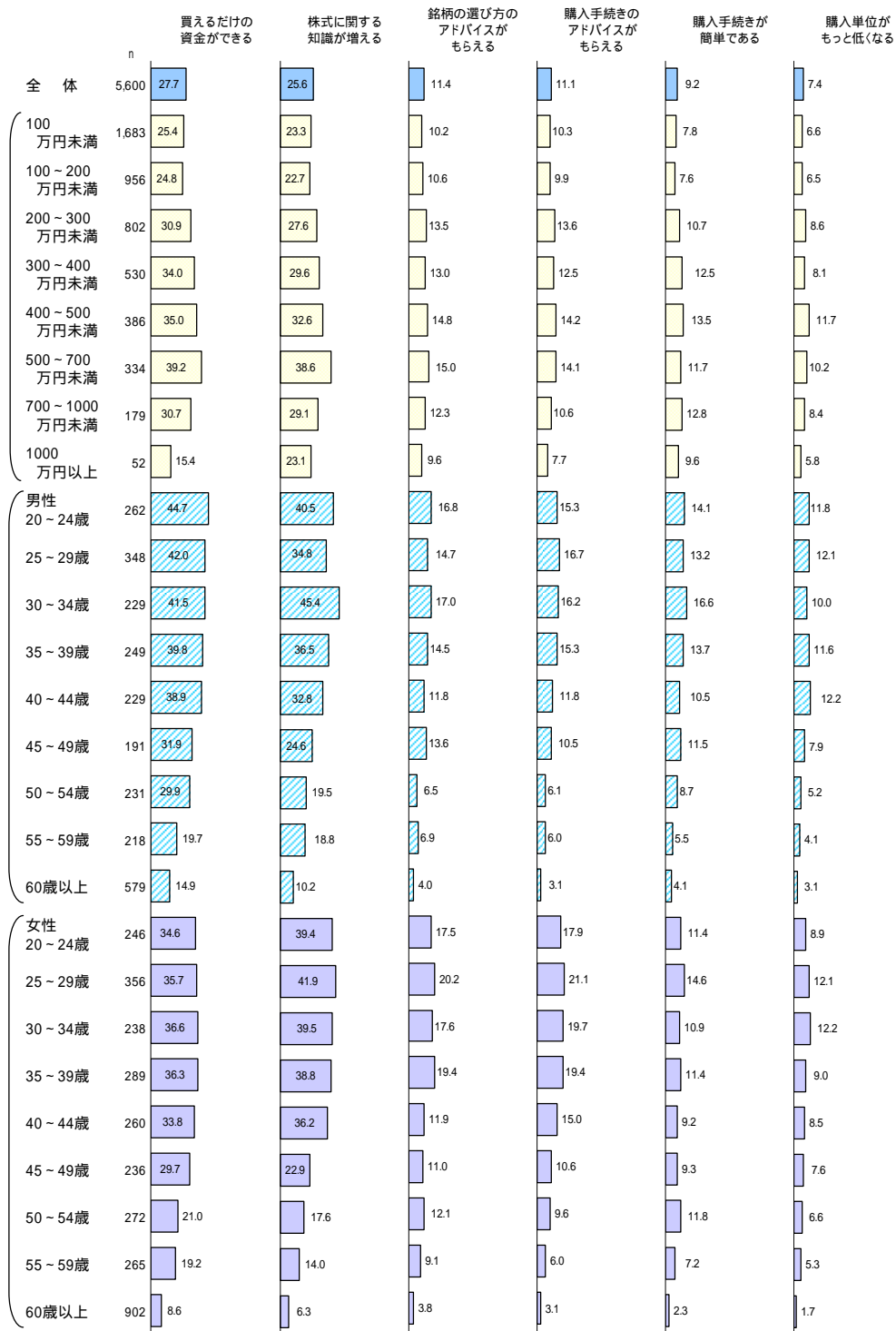


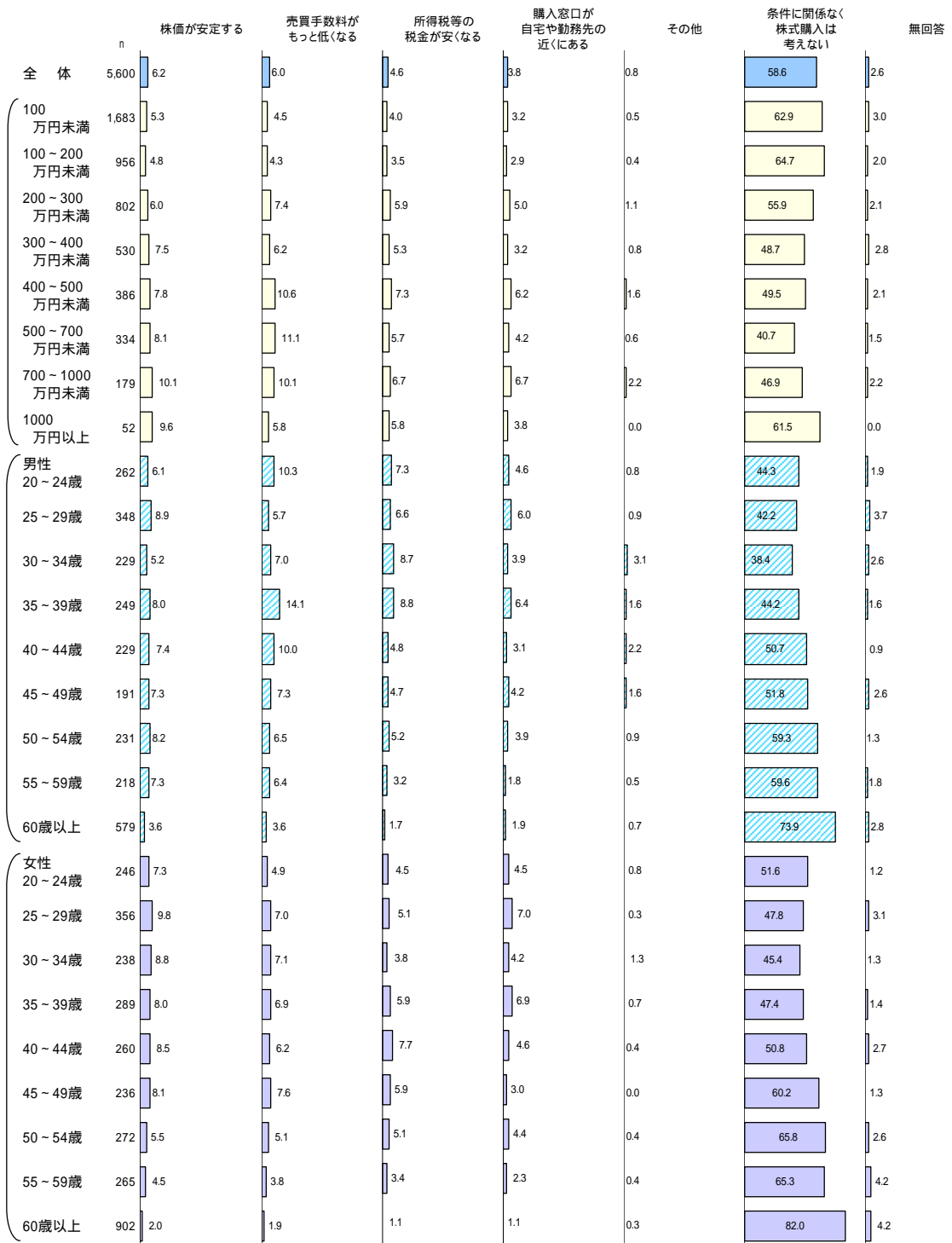
(23) 【株式保有未経験者】株式購入の条件（複数回答）（問34）

株式保有未経験者に対して、どのような条件が整えば株式の購入を考えるか尋ねたところ、「条件に関係なく株式購入は考えない」が58.6%と約6割を占める。次いで、「買えるだけの資金ができること」（27.7%）、「株式に関する知識が増えること」（25.6%）となっている。

男女とも、高年層ほど新規顧客になりにくいことがうかがえる。また、40代前半以下は「買えるだけの資金ができること」、「株式に関する知識が増えること」の割合が高年層に比べて高い傾向がみられる。

図表 4-34 【株式保有未経験者】株式購入の条件（複数回答）（問34） / 年収、性・年代別

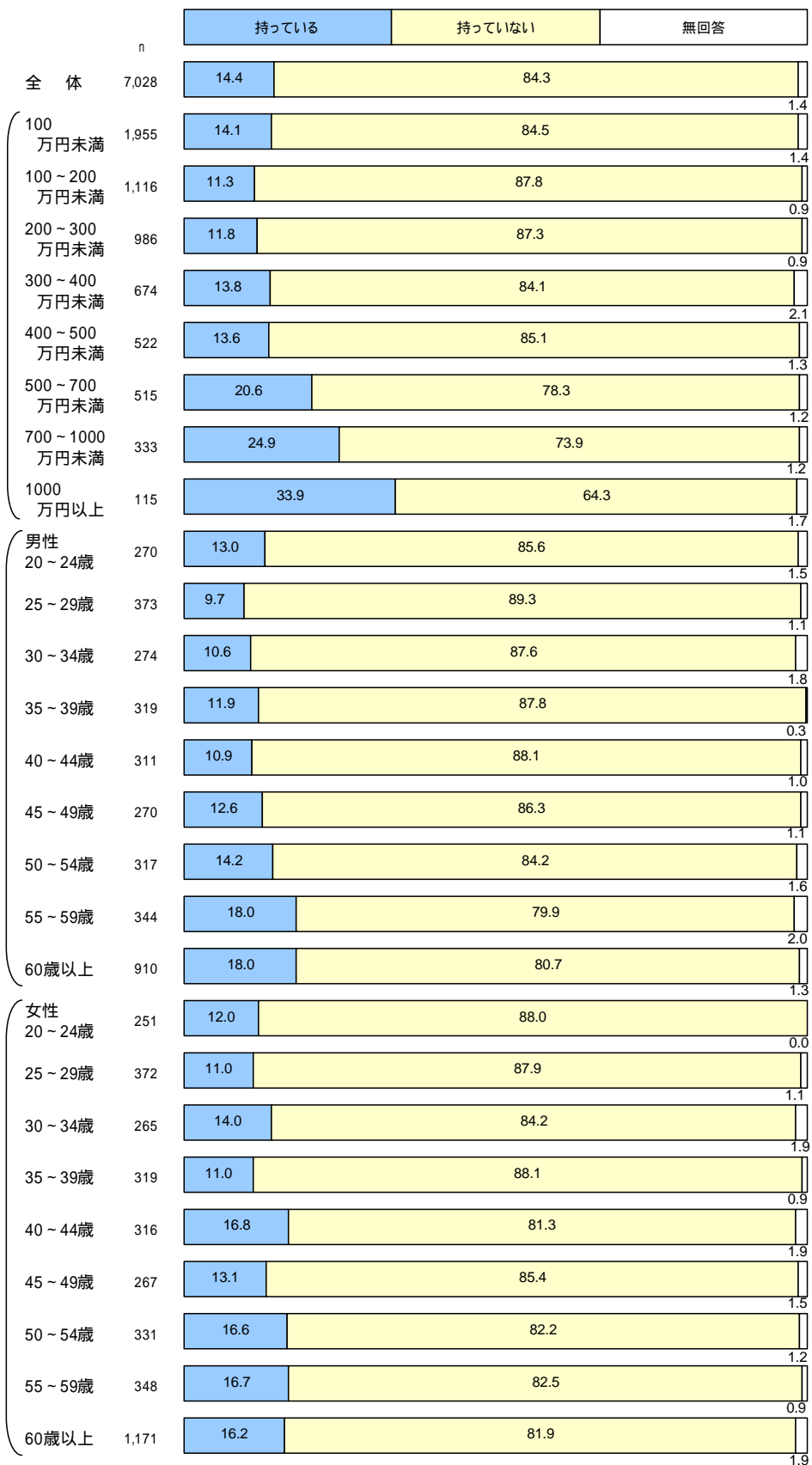




(24) 家族の国内上場株式保有状況 (問 35)

家族の国内証券取引所上場株式の保有状況について、「持っている」は14.4%、「持っていない」が84.3%となっている。なお、年収が多いほど家族保有の割合も高い。

図表 4-35 家族の国内上場株式保有状況 (問 35) / 年収、性・年代別



(25) 国内上場株式の保有・家族人数 (問 35)

国内上場株式を保有している家族の人数は、「1人」が80.9%と大部分である。

図表 4-36 国内上場株式の保有・家族人数 (問 35) / 年収、性・年代別

